

第50号

令和6年1月1日

くいやま

農業委員会だより



発行 栗山町農業委員会
TEL 0123-73-7518

新年を迎えて



栗山町農業委員会

会長 鳥村 正行

新年明けましておめでとう
ございます。皆様には輝かし
い新春を、ご家族お揃いで
お迎えになられた事と心より
お慶び申し上げます。

また、日頃より農業委員会
の活動に対しまして、深い
ご理解とご協力をいただき
ありがとうございます。感謝申し
上げます。

さて、昨年の本町農業を
振り返りますと、融雪が進み

作業も早く始まり生育も順調
でした。6月以降の高温の影
響もあり、水稻においては、
作況指数103と5年連続の
豊作となりましたが、製品歩
留まりは低く、また他の作物
においても、天候の影響によ
る病気等の発生にも悩まされ
ました。

しかし、新型コロナウイルス
感染症が5類に移行し、外
食需要、インバウンドがコロ
ナ禍前に戻りつつありますが、
今だ感染者も多く、またイン
フルエンザが猛威をふるい油
断を許さない状況が続いてお
ります。

また、ウクライナとロシア
の紛争が長期化し、原油価格
及び肥料価格の高騰等、日本

農業にも大きな打撃を与えて
いますが、イスラエルとハマ
スの戦闘により、1973年
と同レベルのオイルショック
が起こるのではと警笛が鳴ら
され、更なる価格高騰が懸念
されています。農業を取り巻
く環境は大変厳しい状況なっ
ています。今後も、農業経営
の維持・発展等に向けた支援
政策の継続と充実・強化を
図るとともに、必要な予算確保
を求めていかなければなりま
せん。

本町の農業構造も、少子高
齢化社会の影響を受け、農業
者人口及び戸数が年々減少し
ており、担い手の確保が大き
な課題であります。このよう
な中、新規就農者や地域の

担い手への農地集積による、
遊休農地の発生防止及び解消、
農地の確保・有効利用など、
今後も関係機関・団体の協力
をお願いしながら、公正・公
平性をもって活動を進めてま
いります。

新しい年がみのりの多い年
でありますよう心からお祈り
申し上げます、新年のご挨拶と
いたします。



● 栗山町賃貸情報（令和5年） ●

令和4年12月から令和5年11月までに締結（公告）された賃貸における賃借料水準（10aあたり）は、以下のとおりとなっております。

1. 田（水田）の部

締結（公告）された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数
北部地区 （富士・中里・湯地・森・鳩山・雨煙別・北学田・本沢）	9,400円	11,000円	3,700円	13件
中部地区 （桜山・杵臼・旭台・共和・三日月・角田・阿野呂・大井分）	8,900円	12,000円	4,000円	33件
南部地区 （南学田・継立・日出・御園・南角田・円山・滝下）	8,100円	14,000円	3,000円	12件
市街地区（上記以外）	—	—	—	—
（参考）栗山町平均	8,800円	—	—	58件

2. 畑（普通畑）の部

（単位：円、件）

締結（公告）された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数
北部地区 （富士・中里・湯地・森・鳩山・雨煙別・北学田・本沢）	6,900円	11,000円	1,000円	10件
中部地区 （桜山・杵臼・旭台・共和・三日月・角田・阿野呂・大井分）	6,500円	11,000円	3,000円	18件
南部地区 （南学田・継立・日出・御園・南角田・円山・滝下）	6,000円	10,000円	3,000円	11件
市街地区（上記以外）	—	—	—	—
（参考）栗山町平均	6,500円	—	—	39件

※賃借料の目安としてご覧ください。

あなたの地域の 農業委員

役職	氏名	担当地区	期数	備考
会長	鳥村 正行	緑丘・雨煙別・鳩山	4期	個人推薦
会長代理	塚本 政紀	北学田・鳩山	3期	個人推薦
委員	鈴木 正志	円山・東山・滝下	2期	個人推薦
//	田村 俊彦	旭台・共和	3期	個人推薦
//	田村 賢治	大井分・角田・阿野呂	2期	個人推薦
//	西川 満	杵臼	1期	個人推薦
//	桂 一照	全地区	5期	改良区推薦
//	柴田 貴浩	桜山	1期	個人推薦
//	土門 雅一	南角田・東山・滝下	1期	個人推薦
//	松田 とも子	-	1期	個人推薦
//	中島 武博	共和・三日月	2期	個人推薦
//	長尾 卓也	南学田・日出	3期	個人推薦
//	川崎 浩彦	継立・日出	3期	個人推薦
//	木下 等嗣	富士・栗山農事・桜丘	1期	個人推薦
//	寺 雅彦	湯地・森	3期	個人推薦
//	吉田 義弘	中里・森	1期	個人推薦
//	吉尾 由美子	-	1期	農協推薦
//	大櫛 和矢	御園・日出	1期	個人推薦



鳥村 正行（会長）

- 【農地部会】 部会長 長尾 卓也
副部会長 田村 賢治
- 【農政部会】 部会長 田村 俊彦
副部会長 中島 武博
- 【運営委員会】 委員長 川崎 浩彦
副委員長 寺 雅彦
- 【広報委員会】 委員長 塚本 政紀
副委員長 木下 等嗣



鈴木 正志



田村 俊彦



田村 賢治



西川 満



桂 一照



柴田 貴浩



土門 雅一



松田 とも子



中島 武博



長尾 卓也



川崎 浩彦



木下 等嗣



寺 雅彦



吉田 義弘



吉尾 由美子



大櫛 和矢

農業委員は地域のお世話役です。
農地などに関するご相談は地域の農業委員まで
お願いします。



塚本 政紀

～国内視察研修報告～



令和5年11月、宮城県及び福島県等において国内視察研修を実施しました。

最初の視察先である「角田市農業委員会」では、新規就農者や女性委員の業務分担等の意見交換を行いました。また、角田市は栗山町の姉妹都市であり、農業委員同士交流を深めることができました。「株式会社敷島ファーム」及び「西郷村」では、西郷村で生産したWCSを敷島ファームへ、敷島ファームからは土づくりに最適な堆肥を西郷村へ提供する循環型農業となっており、耕畜連携の取り組みについて視察させて頂きました。本町においても課題となっている水活や肥料高騰等の課題解消に向け、参考にしていきたいと思いました。

～農業者年金のお知らせ～

農業者年金は、「農家さんのことを知りつくした、農家さんのための年金」です。

①農業者なら広く加入できます。

年間60日以上農業に従事する方で、20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者の方、又は60歳以上65歳未満の国民年金任意加入被保険者の方であれば加入できます。

②少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型の年金です。

自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる積立方式・確定拠出型ですので、少子高齢時代でも非常に安定的な財政方式の年金です。

③保険料は自由に決める事ができます。

保険料は月額2万円～6万7千円の間で自由に決められ、経営状況などに応じていつでも見直せます。

④税制面で大きな優遇措置があります。

保険料は全額が社会保険控除の対象で、支払われる年金にも公的年金等控除が適用されます。死亡一時金は非課税です。農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益（保険料の運用益）も非課税です。

⑤保険料の国庫補助があります。

2万円の保険料の支払いが難しい場合は、保険料の国庫補助の仕組みがあります。国庫補助を受けるには認定農業者で青色申告者等の一定の要件が必要です。

加入や相談については、農業委員会及びそらち南農協までお問い合わせください。

制度の詳細につきましては、独立行政法人農業者年金基金ホームページ

(<https://www.nounen.go.jp>)でもご確認いただけます。

農業委員会の動き

【1月】

- 13日 新・農業人フェア東京（至14日）
- 19日 第3回栗山町農業再生協議会
- 30日 第31回農業委員会総会

【2月】

- 2日 新規就農者交流会
- 14日 北部地区農地流動化推進委員会
- 15日 南部地区農地流動化推進委員会
- 16日 中部地区農地流動化推進委員会
- 27日 第32回農業委員会総会
第8回農地部会
- 28日 栗山町農業教育振興会総会

【3月】

- 2日 栗山町議会定例会（至17日）
- 4日 北海道新規就農フェア



- 10日 第9回運営委員会
- 20日 栗山町青年農業賞表彰式
- 30日 第33回農業委員会総会

【4月】

- 6日 空知農業委員会連合会第1回役員会・総会
- 14日 第1回栗山町農業再生協議会
- 27日 第34回農業委員会総会

【5月】

- 25日 第35回農業委員会総会

【6月】

- 2日 栗山町公社評議会
- 13日 栗山町議会6月定例会議（至16日）
- 17日 新規就農フェア
- 29日 第36回農業委員会総会

【7月】

- 20日 第1回農業委員会総会



第1回運営委員会

第1回農政部会

【8月】

- 8日 第2回運営委員会
- 10日 空知農業委員会連合会臨時総会
- 30日 第2回農業委員会総会
第3回運営委員会

【9月】

5日 栗山町議会9月定例会議（至14日）

29日 第3回農業委員会総会

第1回農地部会

【10月】

4日 栗山町遊休農地等利用状況全体調査

（農地パトロール）（至6日）



11日 女性の新任委員研修

13日 農業団体パークゴルフ大会



16日 第1回栗山町農業教育振興会総会

27日 第4回農業委員会総会

第2回農地部会

栗山町・由仁町農業委員会交流会

【11月】

7日 栗山町農業振興公社地域懇談会（至16日）

13日 国内視察研修（至15日）



24日 新・農業人フェア 大阪（至25日）

27日 令和5年度地区別農業委員等研修会

29日 第5回農業委員会総会

【12月】

12日 栗山町議会12月定例会議

21日 第6回農業委員会総会

あとがき

現在の景況は、生産資材の高騰や担い手不足による労働力不足などの課題により、厳しい状況が続いています。

また、例年にない暑さや断続的な降雨により、作物によっては病気に悩まされるなど、善し悪しが分かれる結果となりました。

農業委員会におきましては、昨年7月に農業委員の改選を終え、新たな体制での活動がスタートしました。

担い手への効率的な農地集積、新規就農者支援など、農業委員会としての役割、担当地区への目配りを怠らないよう心掛けて活動していきますので、今後とも皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

広報委員

委員長 塚本 政紀

副委員長 木下 等嗣

委員 柴田 貴浩

松田 とも子

吉尾 由美子